

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成25年2月21日 (2013.2.21)

【公表番号】特表2012-513773(P2012-513773A)

【公表日】平成24年6月21日 (2012.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2012-024

【出願番号】特願2011-544620(P2011-544620)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/04 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/48 (2006.01)

C 1 2 Q 1/06 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 Q 1/66 (2006.01)

C 1 2 Q 1/34 (2006.01)

C 1 2 Q 1/48 (2006.01)

C 1 2 M 1/34 (2006.01)

C 1 2 M 1/26 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/04

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/48 E

C 1 2 Q 1/06

C 1 2 Q 1/68 Z

C 1 2 Q 1/66

C 1 2 Q 1/34

C 1 2 Q 1/48 Z

C 1 2 M 1/34 B

C 1 2 M 1/26

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月26日 (2012.12.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

試料中の細胞を検出するための方法であって、

細胞濃縮剤、細胞抽出剤を含むヒドロゲル、及び細胞を含むことが疑われる液体試料を提供する工程と、

前記液体試料と前記細胞濃縮剤とを所定の時間にわたって接触させる工程と、

前記液体試料の少なくとも一部から前記細胞濃縮剤を分離する工程と、

前記分離された細胞濃縮剤及び前記ヒドロゲルを含む液体混合物を形成する工程であって、前記細胞抽出剤が前記混合物中に放出される、工程と、

生物学的検体を検出する工程と、を含み、

前記生物学的検体を検出する工程が、前記生物学的検体の量を定量することを含み、

前記生物学的検体の量が 2 回以上定量され、

第 1 の時点において検出される前記生物学的検体の量が、第 2 の時点において検出される前記生物学的検体の量と比較される、方法。

【請求項 2】

試料中の細胞を検出するための方法であって、

細胞を含むことが疑われる試料；細胞濃縮剤；細胞抽出剤を含むヒドロゲル；2 以上の貯留部を備えるハウジングと、前記試料を受容するように構成された開口部とを含む検出物品；及び、前記細胞濃縮剤を分離して、前記ハウジングの上側貯留部から下側貯留部に移動するための手段を提供する工程と、

液体媒質中で前記試料を、前記ハウジングの前記上側貯留部内の前記細胞濃縮剤と接触させる工程と、

前記細胞濃縮剤を分離して、前記ハウジングの前記下側貯留部に移動する工程と、

前記分離された細胞濃縮剤及び前記ヒドロゲルを含む液体混合物を形成する工程であって、前記細胞抽出剤が前記混合物中に放出される、工程と、

生物学的検体を検出する工程と、を含み、

前記生物学的検体を検出する工程が、前記生物学的検体の量を定量することを含み、

前記生物学的検体の量が 2 回以上定量され、

第 1 の時点において検出される前記生物学的検体の量が、第 2 の時点において検出される前記生物学的検体の量と比較される、方法。

【請求項 3】

試料中の細胞を検出するための方法であって、

細胞を含むことが疑われる試料；前記試料を受容するように構成された開口部と、細胞濃縮剤が収容された上側貯留部と、細胞抽出剤を含むヒドロゲルが収容された下側貯留部とを備えるハウジングを含む検出物品；前記細胞濃縮剤を前記液体試料の少なくとも一部から分離するための手段；及び、前記細胞濃縮剤を前記ハウジングの前記上側貯留部から前記下側貯留部に移動するための手段を提供する工程と、

液体媒質中で前記試料と、前記ハウジングの前記上側貯留部内の前記細胞濃縮剤とを接触させる工程と、

前記細胞濃縮剤を分離して、前記ハウジングの前記下側貯留部に移動する工程と、

前記分離された細胞濃縮剤及び前記ヒドロゲルを含む液体混合物を形成する工程であって、前記細胞抽出剤が前記混合物中に放出される、工程と、

生物学的検体を検出する工程と、を含み、

前記生物学的検体を検出する工程が、前記生物学的検体の量を定量することを含み、

前記生物学的検体の量が 2 回以上定量され、

第 1 の時点において検出される前記生物学的検体の量が、第 2 の時点において検出される前記生物学的検体の量と比較される、方法。

【請求項 4】

一体型試料調製及び検出装置であって、

少なくとも 2 個の貯留部を含み、その間に通路を有するハウジングであって、

上側貯留部が、試料を受容するように構成された開口部、及び上側貯留部内に配置された細胞濃縮剤を含み、

下側貯留部が、その内部に配置された検出試薬を含む、ハウジングと、

前記上側貯留部を前記下側貯留部から隔離するための手段と、

前記細胞濃縮剤を前記上側貯留部から前記下側貯留部に移動するための手段と、を備える、装置。

【請求項 5】

少なくとも 2 個の貯留部を含み、その間に通路を有するハウジングであって、

上側貯留部が、試料を受容するように構成された開口部を含み、

下側貯留部が、その内部に配置された検出試薬を含む、ハウジングと、

前記上側貯留部を前記下側貯留部から隔離するための手段と、

細胞濃縮剤と、

前記細胞濃縮剤を前記上側貯留部から前記下側貯留部に移動するための手段と、を備える、キット。